

王寺町ほんまちエリアまちづくり協議会

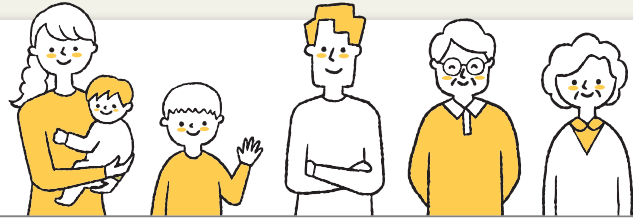
まちづくり計画書

～ ひとりにしない心^{とも}灯るまち ～



本町エリアに住んでいる人、働いている人、活動している人、全員が構成員です

令和 8 年 8 月



聖徳太子が説いた「和（わ）の精神」を現在に伝える「和（やわらぎ）の鐘」が鳴るまち王寺町。町内には、聖徳太子が達磨大師と出会い、助けたという片岡飢人伝説を創建由緒とする達磨寺があります。

王寺町は、奈良県の西の玄関口として鉄道がいち早く開通し、王寺駅を中心に西和地域の中核都市へと発展してきました。多くの人々が暮らす生活都市であるとともに、大和川・葛下川や明神山などの水と緑に恵まれた自然豊かな町です。

（以上、「王寺町まちづくり基本条例」前文より一部抜粋）

このような王寺町にあって、達磨寺が所在する本町地区は、王寺町の歴史の中心にあたる古い集落の一つであり、昭和40年代に宅地開発された地域とあわせて「本町地区」とよばれるようになりました。

このエリアは古くからの住宅と、大阪のベッドタウンとしての比較的新しい住宅が混在するという、まさに王寺町の歴史を象徴するエリアの一つと言えるでしょう。

近年では主要道路の拡張や、防災拠点の整備等、さらなる発展を続けてはいるものの、全国的な動きとはいえ、近年の少子高齢化やライフスタイルの変化に伴い、地域住民のつながりの希薄化や、生活環境における新たな課題が生じ始めており、自治会や各種団体の皆様の大変なご努力により、地域コミュニティーを維持しているのが現状です。

私たちは、先人たちが築き上げて来られたこのエリアを守り、誇りと愛着を持ち、さらに発展させ次世代に引き継いでいかねばなりません。

本計画は、地域住民一人ひとりが主役となり地域の魅力や資源を活かし、王寺町と連携しつつ、互いに支えあう協働のまちづくりを推進するための「道しるべ」として策定するものです。

目指しましょう！「ひとりにしない 心灯（とも）るまち」を！！

- まちづくりビジョン……………3
- 本町エリアを知る……………4
- 本町エリアの歴史……………5
- 協議会ができるまで……………6
- 住民の声から見たこと………7
- これからの取組……………8
- 活動を進める仕組み……………10
- 一緒に活動しませんか……………12



まちづくりビジョン

ともに ひとりにしない心灯るまち

困っている人や、地域とつながりたい人をひとりにしない。顔を合わせ、声をかけ合い、それぞれが無理のない形で関われる。本町エリアに暮らす人、関わる人の心に、小さな灯が灯るような地域づくりを進めます。

01 世代を超えた居場所づくり

子ども、子育て世代、高齢者など、さまざまな世代が気軽に集まり、安心して過ごせる場づくりに取り組みます。

02 ゆるやかにつながるネットワーク

本町エリアの自治会や団体、住民同士が情報を共有し、必要なときに助け合える関係づくりに取り組みます。

03 やりたいことを小さくはじめる

住民の「やってみたい」という思いを大切にし、できる人が、できることから、小さく始められる環境づくりに取り組みます。

本町エリアを知る

本町エリアって、どんなところ

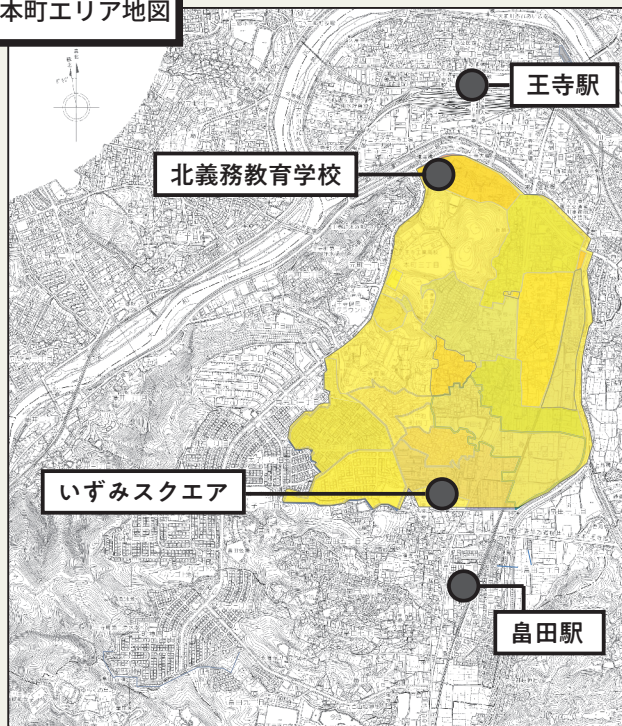
本町エリアは、本町1～5丁目、葛下2～4丁目、元町3丁目の一部で構成されています。古くからの集落や住宅地と、大阪都市圏のベッドタウンとして開発された比較的新しい住宅地が共存する地域です。

昭和30年代以降、大阪方面への交通の利便性を背景に宅地開発が進み、人口が増加しました。現在は、昔から地域に暮らす人と、新しく転入してきた人など、さまざまな世代が暮らしています。

人口の変化

本町エリアの人口は、1995年に6,359人となった後、2015年には5,204人まで減少しました。2020年には5,537人となり、年少人口も増加する一方、高齢者人口も増加しており、子育て世代と高齢者の双方が安心して暮らせる地域づくりが求められています。大阪方面への交通の利便性に加え、公共施設や医療機関、自然環境が身近にあることは、本町エリアの魅力です。

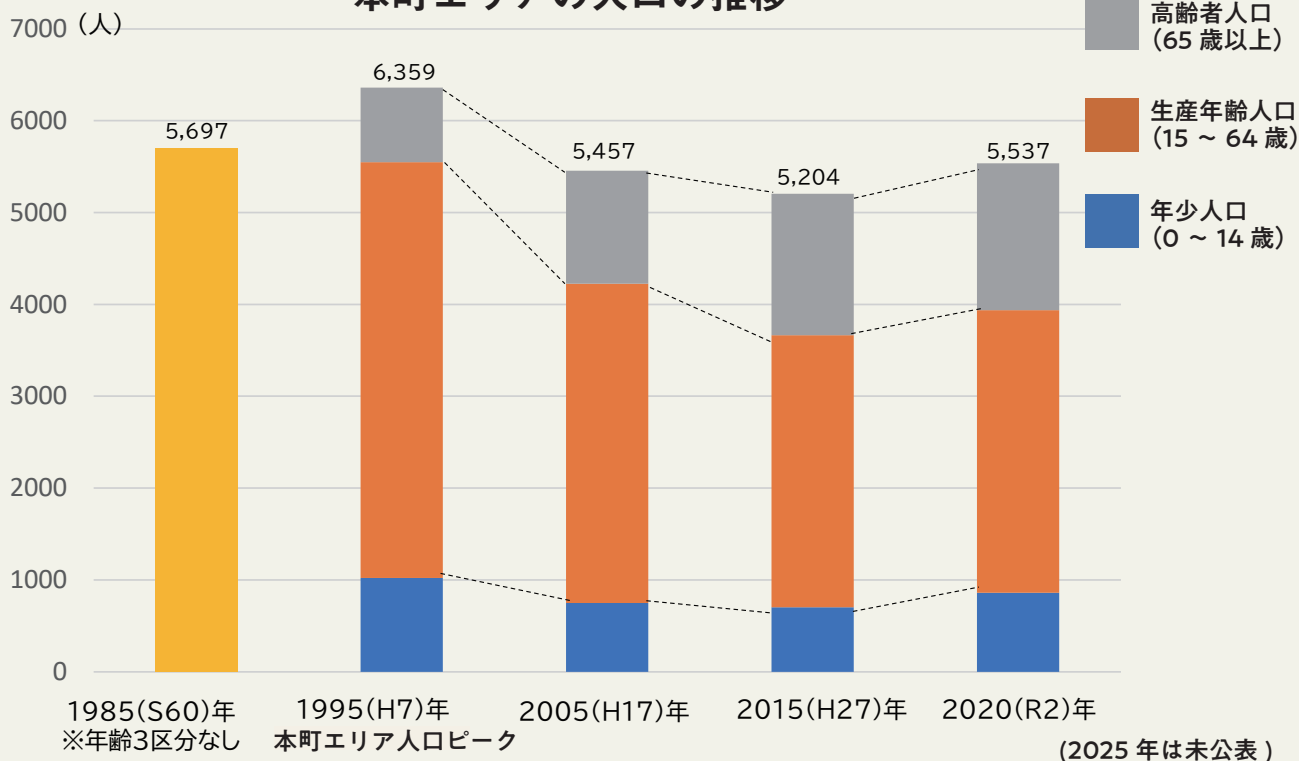
本町エリア地図



本町エリア内にある自治会（16自治会）

天平台／青松園／向ヶ丘／桃山／池の原／白瓜／中村／井戸／門前／張井／張井北町／清川五番館／天吹／片岡山荘／馬ヶ背／葛下2・3丁目

本町エリアの人口の推移



暮らしのそばに残る、まちの記憶——。

本町エリアには、古代から現代まで、人々が暮らしを営んできた歴史があります。地域に残る史跡や伝承、行事を知ること、地域への愛着を育てるきっかけになります。

01

古代

「片岡」と呼ばれた地域

本町エリアには、孝霊天皇片丘馬坂陵や、7世紀前半に建立されたと考えられる古代寺院「片岡王寺」の跡があります。「王寺」という地名は、この片岡王寺に由来すると考えられています。



02

中世から江戸時代

武士と信仰の歴史

親殿神社は、中世の武士団・片岡氏が、文明年間（1469～1487年）に春日若宮社の神を勧請して祀ったのが始まりと伝えられています。拝殿前には、安政2年（1855年）に王寺村の人々が奉納した一対の石灯籠が残され、地域の信仰の歴史を伝えています。



03

明治から戦前

王寺村の中心地へ

明治時代には王寺村が誕生し、鉄道の開通によって人や物の流れが大きく変わりました。本町エリアには商家や商店、学校などがあり、王寺村の暮らしを支える地域として発展しました。



04

戦後から現在

住宅地として発展

昭和30年代以降は住宅開発が進み、道路や学校、公園などの生活基盤が整えられました。昔からの暮らしや文化を受け継ぎながら、現在の本町エリアが形づくられてきました。



話し合いから始まった、「ほんまち未来ラボ」

本町エリアのまちづくりは、地域の課題を一部の人だけで抱えるのではなく、住民や自治会、団体等と一緒に考えることから始まりました。

2024年4月～ 2025年3月	本町地区自治会長会 での検討（全6回）	これからの本町エリアの課題を抽出するために、自治会を中心に消防団、民生児童委員、子ども会、老人会等で検討を重ねました。
2024年 10月12日	本町エリアの “これから”を考える ワークショップ	本町エリアの誰でも参加できるワークショップを開催。「まちづくり協議会」の取組を紹介し、本町エリアの魅力と課題についてグループワークをしました。
2025年 1月25日	「本町エリアまちづくり 協議会設立準備会」 （ほんまち未来ラボ発足）	ワークショップ参加者を中心に、まちづくり協議会を検討するプロジェクト会議が発足。 毎月第4土曜日に定例会議を行い、まちづくり協議会設立に向けて進んできました。
2025年 6月1日～	ほんまち未来ラボでの 検討（全21回）	プロジェクト会議のメンバーだけでなく、本町エリアの各種団体や町と連携しながら、まちづくり協議会の組織体制や活動方針について検討を重ねました。
2025年8月26 日～9月19日	住民アンケートを実施	まちづくり協議会の活動方針をより地域のニーズに沿ったものとするため、本町エリアの全ての住民を対象としたアンケート調査を実施しました。（次項参照）
2026年 1月31日	住民アンケート 結果報告・意見交換会	本町地区自治会長会のご協力のもと多くの回答をいただき、調査結果を取りまとめたアンケート報告会を開催しました。
2026年 8月22日	まちづくり協議会 設立総会	「王寺町ほんまちエリアまちづくり協議会」を設立し、本計画をもとに活動を開始します。



▲これまでに配布したニュースレターなど

920 件の住民の声から、本町エリアのこれからを考える

2025 年に実施したアンケート調査では、2,298 件の配布に対して 920 件の回答がありました。回答率は 40.0%で、多くの住民が、本町エリアの未来に関心を持っていることが分かりました。

本町エリアの魅力

- 王寺駅への交通の利便性が良い
- 自然が身近にあり、静かで暮らしやすい
- 公共施設や生活環境が整っている
- 新旧、さまざまな世代が暮らしている
- 自治会や地域活動が活発
- 治安が良い

地域が抱えている課題

- 高齢になると移動や買い物が難しくなる
- 自治会や地域活動の担い手が不足している
- 自治会や団体を越えたつながりが少ない
- 災害時の避難や助け合いに不安がある
- 子どもや高齢者が集まれる場所が少ない
- 空き家の増加や地域環境の変化が心配

これから大切にしたいこと

住民の声に共通していたのは、「人と人とのつながり」です。顔見知りを増やすこと。世代を越えて交流すること。自治会や団体の枠を越えて助け合うこと。本計画では、このつながりを活動の土台とします。

[illegible]

アンケート集計は、本町エリアの住民の
べ19人で行いました。

01 世代を超えた居場所づくり

子ども、子育て世代、高齢者など、さまざまな人が安心して集まり、地域とのつながりを感じられる場をつくります。

【たとえばこんな取組】

- 子どもが放課後や長期休みに過ごせる居場所
- 子どもを地域で見守る活動
- 高齢者が気軽に集まれるサロンや交流の場
- 高齢者の見守りや声かけ
- 子どもから高齢者まで参加できる交流イベント
- いずみスクエアなど、公共施設を活かした活動



02 ゆるやかにつながるネットワーク

本町エリアの住民、活動する団体、自治会などがゆるやかにつながることで、本町エリアに関わるみんなが「顔の見える関係」を作り、気軽に助け合える地域づくりを目指します。

【たとえばこんな取組】

- 自治会や団体等を越えた情報共有
- 地域行事や活動情報の発信
- ニュースレターやインターネットによる情報発信
- 災害時に助け合える関係づくり
- 子どもも参加できる防災訓練
- 防犯や見守りに関する連携



03 やりたいことを小さくはじめる

地域をよくする活動は、最初から大きなものである必要はありません。「こんなことができればいいな」という住民の思いを受け止め、できる人が、できることから始められる環境をつくります。

【たとえばこんな取組】

- 住民のアイデアを持ち寄る話し合い
- 小さな企画を試せる仕組みづくり
- 活動を始めたい人への相談や協力
- 子ども会など、活動が難しくなっている団体への支援
- 新しい担い手やまちづくりサポーターの募集
- 地域の人や団体、事業者との連携



事業計画期間[2026 年度～ 2030 年度]

実施事業数の増加・まちづくりサポーターの増加



2026 年度

- ・ 設立記念イベントの開催
- ・ まちづくりサポーターの募集
- ・ 始められる部会から活動開始

2028 年度

- ・ 各部会活動の充実・拡大
- ・ 本町エリアの自治会・各種団体との連携強化
- ・ 次期まちづくり計画の策定

2030 年度

この計画の期間は、2026 年度から 2030 年度までの 5 年間とします。ただし、必要に応じて見直しを行います。

まずは、できることから

まちづくり協議会では、住民の参加状況や地域のニーズを確かめながら、次のような活動を検討します。

防災

子どもも参加できる放水訓練、消火器訓練、いずみスクエアを活用した防災訓練など

子ども・担い手づくり

子ども会活動などへの支援、子どもの居場所づくり、地域活動に関わる人を増やすための取組など

世代を越えた交流

まち協設立記念イベント、高齢者の見守りや居場所づくり、世代を超えて参加できる催しなど

議決・承認機関

全体の大きな動きを確認し、決める場

【主な役割】

予算・決算、年間事業計画などの確認・承認、情報共有

総会

原則、年1回

その他必要に応じて開催

【代議員】40人程度

別途規約に定めるところによる

意思決定機関

活動方針を決める場

【主な役割】

事業や活動に関する承認

情報共有

役員会

必要に応じて開催

【役員】10人程度

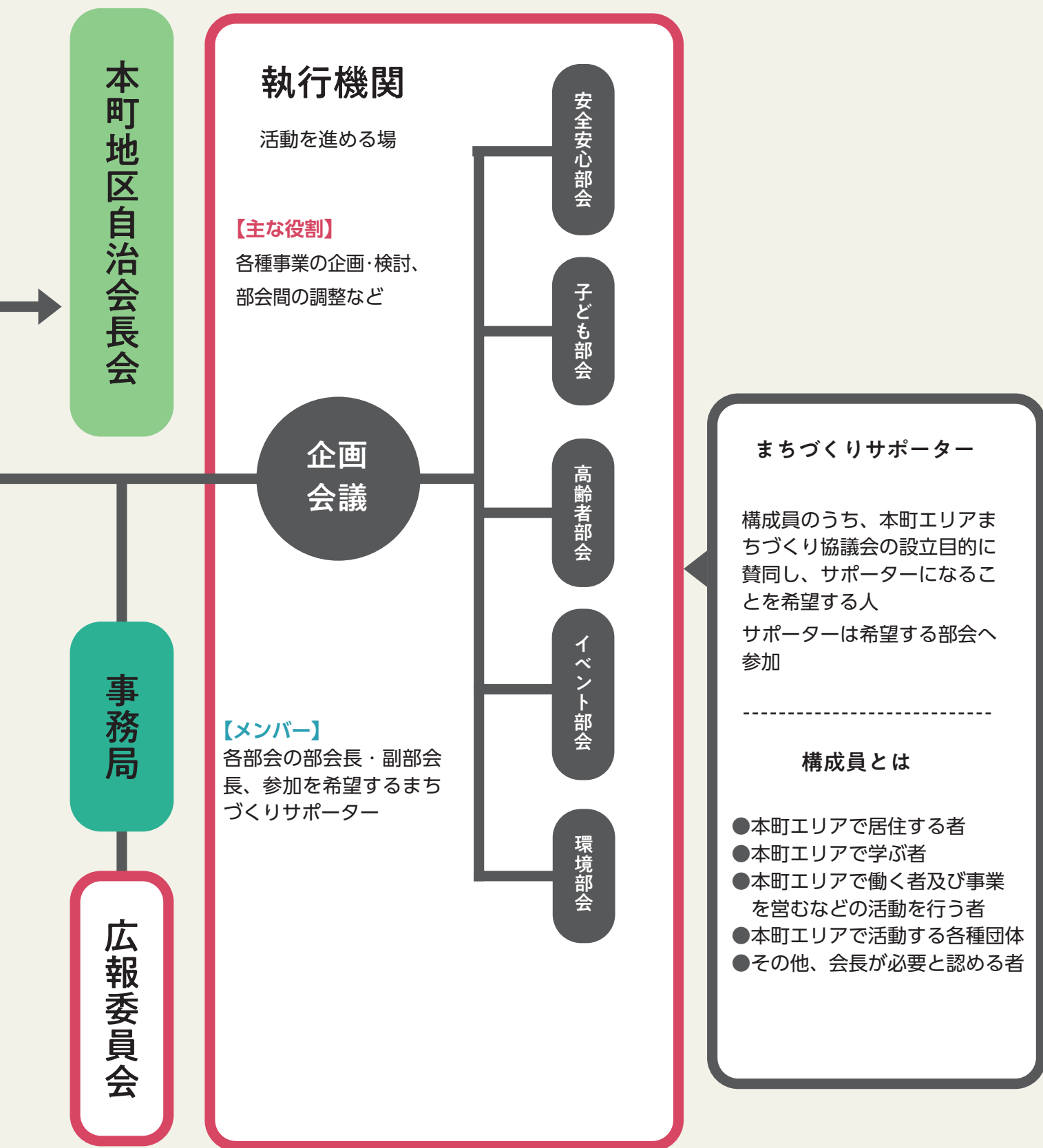
会長：1人

副会長：5人以内

事務局長：1人

会計：1人

監事：2人



あなたの「やってみたい」を、本町エリアの力に

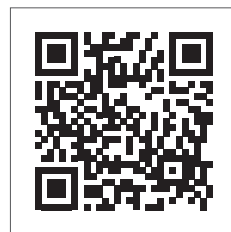
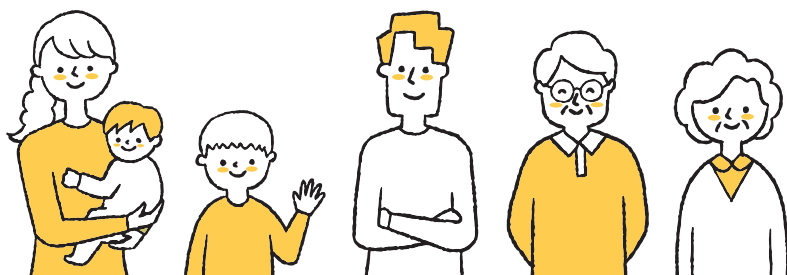
まちづくりサポーター登録募集中

まちづくりは、自治会や一部の役員だけで進めるものではありません。

イベントに参加する。準備を少し手伝う。得意なことを生かす。アイデアを出す。活動のことを周りの人に伝える。関わり方は人それぞれです。

できるときに、できることから。本町エリアに暮らす人、働く人、活動する人であれば、個人でも団体でも参加できます。

まちづくりサポーター
登録フォーム



一人ひとりの小さな一歩が、
本町エリアのこれからをつくれます。

王寺町ほんまちエリアまちづくり協議会